

Beta Analytic 再生可能炭素 / バイオベース試験 提出フォーム



お名前: 松山 澄久 お名前(英文): Mr. Sumihisa Matsuyama
御社名: 株式会社地球科学研究所 御社名(英文): Chikyu Kagaku Kenkyusho Co., Ltd.
部署: 分析部
ご住所: 〒468-0007 名古屋市天白区植田本町一丁目608番地
Tel: 052-802-0703 Fax: 052-805-6383 E-mail: sumi@geolab.co.jp

重要: このシートに記載された事項(御社名、試料名など)がそのまま報告書に反映されます。BetaAnalyticログイン後の変更はできません。

納期 (お選びください)
(試料ごとにご希望の納期が異なる場合はコメント/特記事項欄にご指示願います)
物質、試料の種類: バイオベース製品
試料の状態 (例. ガラス瓶に入った0.5ccの透明な液体): ベレット

Table with 2 columns: 試料の種類(左チェックボックス)および試験規格(右のドロップダウンリスト)をそれぞれ1つだけ選択してください. Includes rows for Bio-based product test, Bio-fuel test, Natural vs synthetic test, and Regenerative carbon test.

Note: ASTM D6866 では、無機炭酸塩(CaCO3 など)を含まない物質のみを対象に"バイオベース"という用語を用いることを許可しています。従いまして、物質における全炭素を分析対象とした場合には、"パーセントバイオベース炭素"ではなく"パーセントバイオジェニック炭素"としてご報告します。

Table with 3 columns: 試料名(報告書に記載される試料名: 英文字および数字のみ使用可能です), おおよその炭素含有量(%), コメント / 特記事項. Includes handwritten entries for 'biobased sample 1' and 'biobased sample 2' with carbon content of 80%.

代表試料のサンプリングはご提出者様の責任です。試料がバイオベース製品、バイオ燃料製品の場合は、英文の MSDS/SDS をご送付ください。

株式会社地球科学研究所は、取り扱うことのできない危険物、有害物質、突然変異原、バイオベース試験に不適な物質はいかなるものであっても受け取りを拒否することが可能です。

お名前: 松山澄久 日付: 2020-04-01

ご署名前のシートをメールで事前にお送りいただけると大変助かります。 sumi@geolab.co.jp

セルの移動はTABもしくはマウスで直接選択してください。